

2015

フルモデルチェンジ

学校のオリジナリティを表現

実例校レポート

【東京都】

世田谷区立
きぬたみなみ
砧南中学校



所在地

東京都世田谷区鎌田3-13-20

沿革

昭和52年 砧南中学校開校
平成14年 砧南らる保育園へ移設
平成18年 創立30周年

多摩川・野川・仙川・国分寺崖線といった自然や、砧公園・岡本公園といった施設、また農産物を生み出す畑がある等、世田谷区でトップクラスの教育環境に恵まれた学校です。これまでの制服の経過年数が長く古くなってきたことから、機能性の見直しと時代に合ったデザインにするため制服モデルチェンジが行われました。

検討のポイント

1 生徒嗜好を重視したデザイン

学校の求める制服像として「21世紀の公立中学校の生徒にふさわしい、機能的、活動的でありながら、着ることに喜びと誇りがもてる制服」というご要望がありました。デザインについては、生徒嗜好を踏まえ、オリジナル性があり、且つ愛校心と誇りの持てる制服ということで、学校様が校内アンケートを実施されました。その結果を基に各社デザインを考えてのご提案となりました。

2 機能的・活動的な制服

ストレッチ性や消臭など、生徒の活動に適応した機能や素材が求められました。そこで、スーパーストレッチ素材を使用したストレスフリーレザーご提案し、プレゼン時間の半分以上をストレスフリーの説明にあて、機能性をアピールしました。

生徒の生の声を取り入れた、 生徒嗜好の高いストレスフリーブレザー



快適性を追求したストレスフリー設計

腕の動作からかかる衣服の突っ張りや身体への圧迫を軽減したストレスフリー設計。

伸縮性の良い素材を使用し、より快適な着心地です。

(※登録実用新案第3168666号)



スラックス柄



スカート柄



ネクタイ



リボン

全校生徒のアンケートで決定した生徒人気柄です。

決定の経緯・モデルチェンジ効果

ストレスフリーブレザーの着心地が良いとご好評いただきました。また、先生や生徒を巻き込みながら行ったブレゼンの雰囲気が高く、一緒に仕事をしたいと思っていただき、メーカー決定に至りました。

メーカー決定後のデザイン検討は、先生・生徒・保護者と共に進めていきました。ボトム・ネクタイ・リボンの柄は全校生徒を対象にした投票を繰り返し、本当に生徒が着たいと思う生徒嗜好の高い制服が完成しました。

2016

フルモデルチェンジ

事例校レポート

学校のオリジナリティを表現

【東京都】

西東京市
やぎさわ
柳沢中学校



所在地

東京都西東京市柳沢3-8-22

沿革

昭和43年 保谷市立柳沢中学校 設立
平成13年 西東京市 誕生
平成24年 開校40周年

学校が目指す学校像は「活力のある学校」。明るい笑顔で元気な挨拶が飛び交っている活気溢れる学校です。また、生徒の規範意識の向上を目指し、あ「挨拶」、じ「時間」、み「身だしなみ」、こ「言葉遣い」、し「姿勢」について自己点検を行っており、生徒指導にも力を入れています。

検討のポイント

1 生徒だけではなく、保護者の方々にも愛されるデザイン

着用する生徒にはもちろん、保護者の方々からも長く愛されるような落ち着いたデザインのご提案が求められました。プレゼンテーションには多くの保護者が参加するという点もあり、この点は提案していく上で大きな課題となりました。

2 近隣の学校と識別できるオリジナリティ

他校と識別できるオリジナルの標準服を作りたいというご要望をいただきました。スクールカラーとも言える「ブルー」を使うことで、柳沢中学校らしさを表現したオリジナル性の高い標準服をご提案することが必要でした。

3 機能性に優れた素材と快適な設計

生徒がより快適に学校生活を送れることを考えた提案が検討ポイントの一つでした。耐久性に優れ、家庭洗濯機で洗える素材、また生徒にストレスを与えないような、今の生徒に合った快適な設計にすることが求められました。

「YAGISAWA BLUE」と名付けたブルーを使ったオリジナル性の高いデザイン



スカート柄

YAGISAWA BLUEのラインを使ったオリジナルの柄。保護者や職員など大人からも人気の高いシックなデザインです。



スラックス柄

グレーベースにYAGISAWA BLUEを取り入れたチェック柄。女子のスカートとも相性のよい落ち着いた柄です。



附属品でも柳沢中学校らしさを表現

ワッペン・ボタン・ネクタイ・リボンなど、附属品にも柳沢中学校らしさを取り入れ、オリジナル性を高めました。ボタンには校章を施しています。また、女子のニットベストにはYAGISAWA BLUEのラインとオリジナルの刺繍を入れました。

決定の経緯・モデルチェンジ効果

ご提案標準服のコンセプトを「YAGISAWA BLUE -活きる青-」とし、柳沢中学校だけのオリジナル標準服をご提案しました。「ブルー」に明るく光輝く活力の色「白」を混ぜた学校オリジナルカラー「YAGISAWA BLUE」は、先生方にも大変気に入っていただきました。デザイン面だけでなく、ブレザーの着心地の良さにも高い評価をいただき、提案した標準服から大きく変更することなく、最終決定となりました。

2016

フルモデルチェンジ

実例校レポート

学校のオリジナリティを表現

【千葉県】

浦安市立 いりふね 入船中学校



所在地

千葉県浦安市入船三丁目66-3

沿革

昭和56年 浦安中学校より分離し開校
昭和60年 美浜中学校が入船中学校から分離し開校
平成20年 特別支援学級設置
平成26年 高洲中学校が入船中学校から分離し開校

学校文化祭は「地域文化祭」として、保護者や地域団体の出し物を中心とし盛り上がりを見せるなど、小中一貫教育や地域との連携に大変力を入れている学校です。千葉県内の中学校で初めてブレザーを採用するなど、伝統ある標準服でしたが、創立35周年を機に、一新することとなりました。

検討のポイント

1 知性と歴史を感じさせ着る人を選ばないデザイン

千葉県内の中学校で、初めてのブレザーを採用したということで、提案2タイプのうち1タイプはブレザースタイルを要望されました。スクールカラーである「紺」を用い、着る人を選ばない落ち着いたデザインを意識しました。

2 近隣校との識別を図り、地域小学生から憧れられる標準服

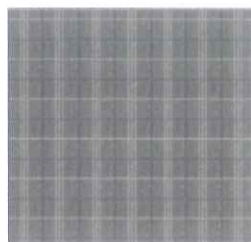
近年開校した市内の明海中学校と高洲中学校がセーラーブレザータイプの標準服を採用していることから、特にこの2校との識別を図り、小学生から憧れられる標準服を目指しました。

3 愛着の持てるオリジナリティ

生徒が愛着を持って着用できることもポイントとなったため、生徒を交えてオリジナルエンブレムを作成しました。まずは、特別支援学級の生徒が美術の時間にエンブレムの色を出し合い、それらを参考に2案まで絞りました。その後、全生徒による投票を行い最終デザインが決定しました。



「入船ブルー」を随所にあしらった 地域全体をつなぐ標準服



海をイメージしたスカート・スラックス

男女ともに「入船ブルー」をアクセントにしたチェック柄。中心のラインからブルーのラインが広がっていくチェックは近隣の海の波紋をイメージしています。



ネクタイ・リボン

「入船ブルー」のラインがさわやかな印象のストライプ。知性や落ち着き感じさせるデザインです。

ポロシャツ

男女共に夏はポロシャツを採用。色をサックスにし、清涼感を演出しました。



オリジナルエンブレムとボタン

入船のイニシャルにある「I・F」をマストに見立てた船をモチーフにデザイン化。船を表す3本のラインは、3つの教育目標を、船を囲む円は、学校全体、小中、地域とのつながりや調和をイメージしています。

決定の経緯・モデルチェンジ効果

事前に先生・PTAの方に、東京ショールームへ来場いただき、要望や方向性をヒヤリングした上でプレゼンテーションを実施。その後の校内展示で、小・中学生や保護者、地域住民から投票を行い、学校の要望に一番にマッチしていたと評価をいただき、メーカー決定に至りました。平成27年10月の開催された入船地区地域文化祭で決定標準服をお披露目した際は、生徒や保護者、地域住民の方から好評を得ており、新入生だけでなく、2年生も新標準服を購入いただけているということです。

40周年を機に、デザイン・機能性を見直し

現行制服をベースに、素材や設計を見直し、デザイン性や機能性を向上させた新制服にしたいとのご要望をいただきました。特に現行の制服は、少し明るすぎるグレーが冠婚葬祭や入試時に目立つため、フォーマルな色合いのチャコールグレーと濃紺の2色で検討が進められました。



Before



快適性を追求したストレスフリー設計



ネクタイ(選択制)



リボン(選択制)



オリジナル釦



袖口反射パイピング

決定後の状況・活動

デザインは、近隣校との識別のため、敢えてスーツタイプを継承。チャコールグレーと濃紺のスーツ2タイプにて、在校生・保護者・近隣の小学校も含めた投票を実施し、投票数の多かった濃紺スーツスタイルに決定となりました。周年行事の中で、先生が新制服を着てファッションショーでお披露目すると、明るいグレーから濃紺に変わり、スタイリッシュでカッコよくなったと好評の声をいただきました。

目黒区立
だいいち

【東京都】

第一中学校

フルモデルチェンジ 2018年度

MCのきっかけ

周年

MCのきっかけ

経年

創立70周年を機に、標準服で学校らしさをアップ

目黒区内で最も歴史のある公立中学校。創立70周年という大きな節目を迎え、より学校らしさを高めたオリジナリティ溢れる標準服にモデルチェンジすることとなりました。今までの標準服は素材や機能面でも改善できる部分が多くあったため、機能性を向上し、生徒・保護者から喜んで頂ける標準服にすることも、学校からのご要望でした。



Before



ニットセーター



ポロシャツ



快適性を追求したストレスフリー設計



オリジナルワッペン



袖口反射パイピング



身返しパイピング



男女兼用ネクタイ



ダブルプリーツスカート

決定後の状況・活動

今までの標準服とは全く異なるオリジナル性の高いデザインは、地域からも好評です。快適性を追求したストレスフリー設計のブレザーにも「着心地バツグン」と嬉しいお声を頂いています。さらに、70年続いてきた伝統を継承するべく、在校生とのワッペン共同制作プロジェクトを実施。在校生がデザインした世界にたった1つのオリジナルワッペンが完成しました。毎年4月には着こなしセミナーを実施し、在校生の想いもしっかりとお伝えしています。